

# DocuSign連携の設定ガイド

## 帳票DX for Salesforce

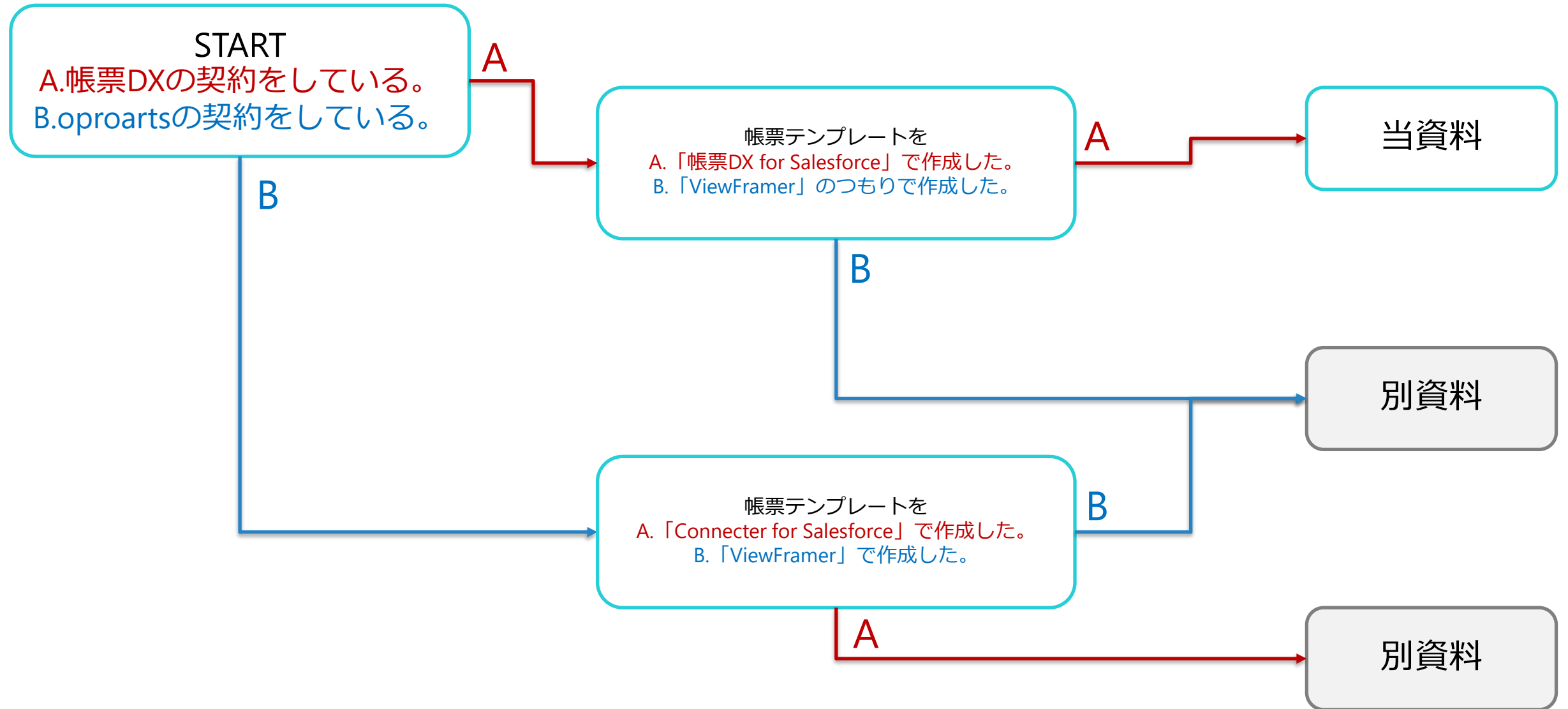
DX推進本部SE部



# 本資料について

- 同梱している以下の設定ファイルの変更部分を案内するガイドです。
  - ① D3Worker用「 Docusign連携サンプル設定（帳票DXテンプレート）.d3w 」
- 以下動作を想定した手順一覧となります。
  - Docusign送付
  - Docusign送付後の各ステータスに応じたSalesforce項目更新
- 最低限の項目のみ解説しています。
- 必須項目は「\*」で表現しています。

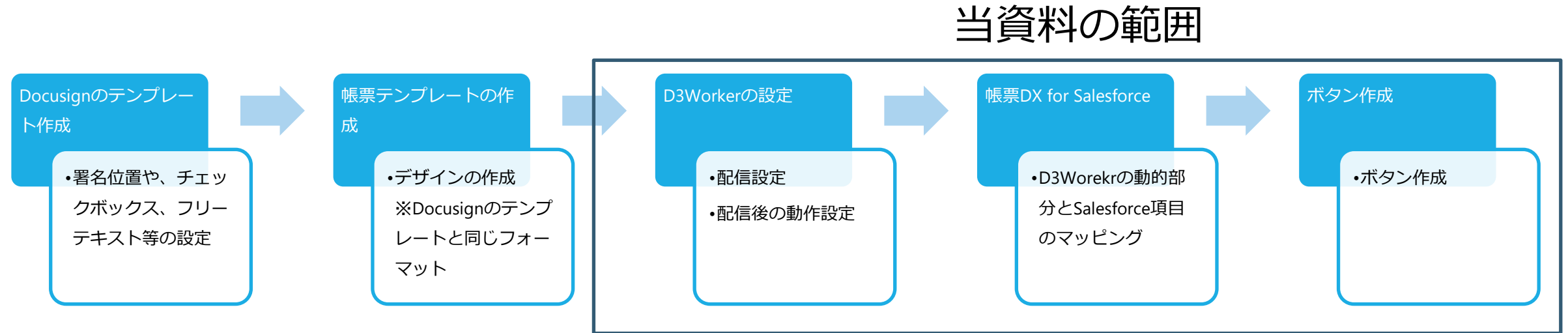
# 本資料について



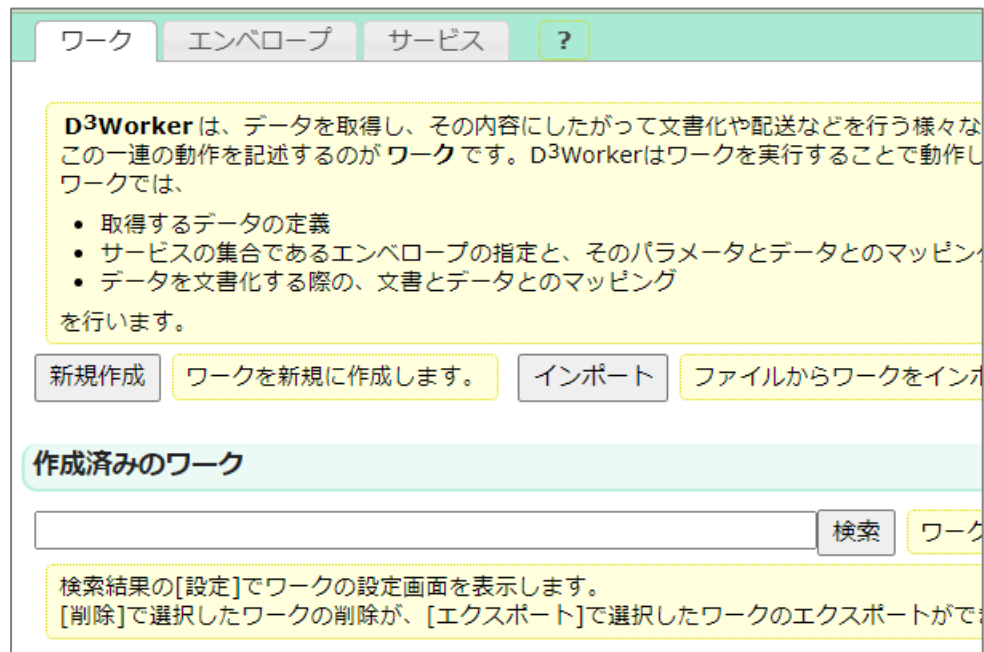
# 事前準備

1. Salesforceに帳票DXがインストールされ、認証情報が登録されていること
  - セットアップガイドを一通り行ってください。
2. Docusignのテンプレートのご用意
  - 署名の位置等を設定いたします。
3. 帳票テンプレートが作成済みであること
  - XAデザイナーから、Docusignのテンプレートと同じフォーマットでご用意ください。

# 全体設定の流れ



# D3Workerにログインする



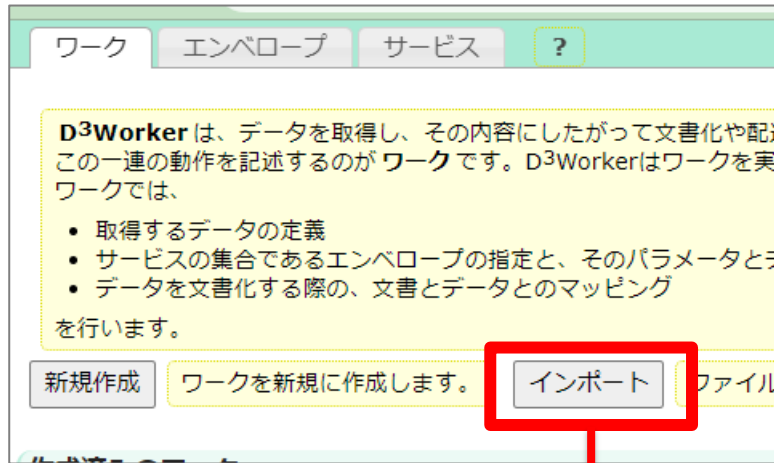
1. 弊社から認証情報が記載されたテキストファイルが送付されています。

1. 見つからない場合は、営業・SE・サポートのいずれかにご連絡ください。

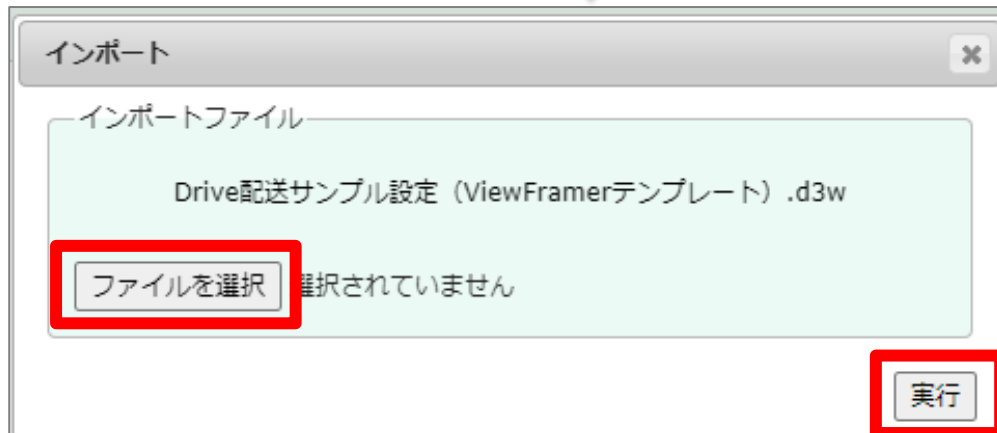
2. 「D3Worker.txt」内の「設定画面」URLをブラウザで開いてください。

1. UID、UPWも同テキスト内に記載されています。

## DocuSign連携サンプル設定d3wファイルをインポートする



1. 「ワーク」タブの「インポート」ボタンをクリックします。
2. ファイル選択で、「DocuSign連携サンプル設定」に含まれている.d3wファイルをアップロードし、実行をします。
3. 「検索」をクリックすると、インポートした設定が表示されます。



# D3Workerの構成

配布サンプルは以下の構成となっています。1つのボタンに対して、3つのワークが1から3の順番で動作します。

## 1. ワーク「①DocuSign連携\_（[帳票名]）\_帳票DX for Salesforce」

- エンベロープ「①DocuSign連携\_（[帳票名]）\_帳票DX for Salesforce」：生成した帳票をDocuSignに連携
  - 文書化サービス「①DocuSign連携\_（[帳票名]）文書化」
  - 配送サービス「①DocuSign連携\_テンプレート配送」

## 2. ワーク「②DocuSign連携\_([帳票名])\_帳票DX for Salesforce(送付後実行用)」

- エンベロープ「②DocuSign連携\_([帳票名])\_帳票DX for Salesforce(送付後実行用)」：DocuSign送付後にステータス更新
  - 文書化サービス「②DocuSign連携\_（[帳票名]）\_送付後実行用1」
  - 配送サービス「②DocuSign連携\_（[帳票名]）\_送付後実行用2」

## 3. ワーク「③DocuSign連携\_([帳票名])\_帳票DX for Salesforce(承認後実行用)」

- エンベロープ「③DocuSign連携\_([帳票名])\_帳票DX for Salesforce(承認後実行用)」：署名後にステータス更新+署名完了ファイルを添付
  - 文書化サービス「③DocuSign連携\_（[帳票名]）\_承認後実行用1」
  - 配送サービス「③DocuSign連携\_（[帳票名]）\_承認後実行用2」

A large blue circle and a smaller blue circle are positioned on the left side of the slide, partially overlapping.

## サービスの設定<配送>

- ・ ①DocuSign連携\_テンプレート 配送
- ・ ②DocuSign連携\_（ [帳票名] ） \_送付後実行用2
- ・ ③DocuSign連携\_（ [帳票名] ） \_承認後実行用2

## 【サービス】①DocuSign連携\_テンプレート配送

ワーク エンベロープ サービス ?

文書化や配送などを行う個々のサービスの設定を行います。  
サービスは、ワークの実行中にアクティブになったエンベロープによって、実行され

新規作成 サービスを新規に定義します。

定義済みのサービス

①DocuSign連携\_テンプレート配送 検索

検索結果の[設定]でサービスの設定画面を表示します。  
[削除]で選択したサービスを削除できます。ただしワークやエンベロープで使用さ

名称	メモ
<input type="checkbox"/> ①DocuSign連携_テンプレート配送	配布用のひな型です。

1. 「サービス」タブを開き、「検索」ボタンをクリックするとインポートしたサービスが表示されます。
2. 「①DocuSign連携\_テンプレート配送」をダブルクリックで開きます。

# 【サービス】①DocuSign連携\_テンプレート配送

## 1. 名称

1. 名称は任意のため変更いただいても問題ございません。

## 2. メモ

1. 検索ワードになります。自由にご変更ください

## 3. 接続

1. DocuSignに接続します。サービスに名前を付けた後、一度サービスを保存します。そのあとに、「接続」ボタンをクリックしてDocuSignに接続してください。

## 4. Docusignテンプレート

1. 接続確認後、テンプレートID(※)を記入し読み込みボタンをクリックしてください

※DocuSignであらかじめ用意されているテンプレートを使用することができます。取得方法はDocuSign側画面のテンプレートを開いた際の「~/templates/details/」以降の値となります。

## 5. 文書の送信

1. テンプレートの送信方法を選択します。  
IDを入力したDocuSignのテンプレートと帳票DXで作成した帳票の送信順序や置き換え等が選択できます。

サービスの設定

名称

①DocuSign連携\_テンプレート配送

メモ

配布用のひな型です。

DocuSign - ワーク実行

DocuSignテンプレートに、文書と受信者を設定してエンベロープを作成し、送信します。  
文書のうち、DocuSignがサポートする形式が処理対象となります。  
DocuSignエンベロープの終了をもって配送の完了とします。この際に、D3Workerのワークを実行できます。

このサービスを設定するには、最初にDocuSignに接続する必要があります。  
[DocuSignへの接続]をおこなってから、設定を進めてください。

DocuSignへの接続

接続

接続の確認

解除

☐ Sandboxへ接続する

このサービスを使用するには、D3Workerの接続アプリケーションを、お客様のDocuSignアカウントに[接続]する必要があります。  
[接続]すると、現在の設定が保存され、DocuSignのサイトにてサインインが求められます。サインイン後、D3WorkerからDocuSignへのアクセス許可を確認されますので、承諾してください。  
D3WorkerによるDocuSignの操作は、接続を承諾した際のDocuSignアカウントとして行われます。

[解除]すると、D3Workerから接続情報を即座に削除します。DocuSignの接続アプリからは削除されませんので、必要に応じてDocuSignの管理画面で削除してください。  
解除後は、再び[接続]するまではこのサービスは機能しません。

DocuSignテンプレート

テンプレートID

読み込み

接続後に有効になります。

テンプレートIDは、DocuSignのテンプレート詳細画面で得られます。  
指定するDocuSignテンプレートは、以下のようなものである必要があります。

- 受信者の役割が一意
- 受信者の名前とメールの片方だけが設定されていることがない
- フィールドのラベルが一意

文書の送信

文書の送信方法

DocuSignテンプレートの後に加える

それ以降の設定は次のエンベロープにて設定を行います。

Confidential

©2023 OPRO Co., Ltd.

11

## 【サービス】 ②Docusign連携\_（[帳票名]）\_送付後実行用2

ワーク エンベロープ サービス ?

文書化や配送などを行う個々のサービスの設定を行います。  
サービスは、ワークの実行中にアクティブになったエンベロープによって、実行されます。

新規作成 サービスを新規に定義します。

定義済みのサービス

②Docusign連携\_（[帳票名]）\_送付後実行用2 検索

検索結果の[設定]でサービスの設定画面を表示します。  
[削除]で選択したサービスを削除できます。ただしワークやエンベロープで使用されてい

名称	メモ
<input type="checkbox"/> ②Docusign連携_（[帳票名]）_送付後実行用2	配布用のひな型です。

1. 「サービス」タブを開き、「検索」ボタンをクリックするとインポートしたサービスが表示されます。
2. 「②Docusign連携\_（[帳票名]）\_送付後実行用2」をダブルクリックで開きます。

# 【サービス】 ②Docusign連携\_（[帳票名]）\_送付後実行用2

サービスの設定	
名称	②Docusign連携_（[帳票名]）_送付後実行用2
メモ	配布用のひな型です。

## 1. 名称\*

- [帳票名]の部分に対象帳票名をご入力ください。名称は自由ですのですべて変更いただいても問題ありません。

## 2. メモ

- 検索ワードになります。自由にご変更ください。

## 3. 項目\*

- ②はDocusignにリクエストを送った後に更新したいSalesforceの項目のAPI参照名を入力します。
  - オプロ→ Docusignのタイミングとなり、署名完了はしていない状態のことです。

項目	
項目の値は、エンベロープで設定します。	
API参照名	+ x
※更新したい項目のAPI参照名を※	x
※入力してください※	x
※不要な項目は※	x
項目の値は、エンベロープで設定します。	
API参照名	+ x
Status__c	x
+ x	
<input checked="" type="checkbox"/> 値が空白の項目を無視する	
実行時の値が空白の場合のふるまいを指定します。チェックすると値が空白の項目は使用されません。チェックしない	

## 【サービス】 ③Docusign連携\_（[帳票名]）\_承認後実行用2

ワーク エンベロープ サービス ?

文書化や配送などを行う個々のサービスの設定を行います。  
サービスは、ワークの実行中にアクティブになったエンベロープによって、実行さ

新規作成 サービスを新規に定義します。

定義済みのサービス

③Docusign連携\_（[帳票名]）\_承認後実行用2 検索

検索結果の[設定]でサービスの設定画面を表示します。  
[削除]で選択したサービスを削除できます。ただしワークやエンベロープで使用さ

	名称	メモ
<input type="checkbox"/>	③Docusign連携_（[帳票名]）_承認後実行用2	配布用のひな型です。

1. 「サービス」タブを開き、「検索」ボタンをクリックするとインポートしたサービスが表示されます。
2. 「③Docusign連携\_（[帳票名]）\_承認後実行用2」をダブルクリックで開きます。



## 【サービス】 ③Docusign連携\_（[帳票名]）\_承認後実行用2

### 4. 項目\*

- ③はDocusignの署名完了後に更新したいSalesforceの項目のAPI参照名を入力します。

サービスの設定	
名称	GMOサイン連携 Salesforce Files [配送] - セッション（[帳票名]）
メモ	配布用のひな型です。

項目	
項目の値は、エンベロープで設定します。	
API参照名	+ ×
※更新したい項目のAPI参照名を※	×
※入力してください※	×
※不要な項目は※	×
項目の値は、エンベロープで設定します。	
API参照名	+ ×
Status__c	×
+ ×	
<input checked="" type="checkbox"/> 値が空白の項目を無視する	
実行時の値が空白の場合のふるまいを指定します。 チェックすると値が空白の項目は使用されません。チェックしない	

A large blue circle and a smaller blue circle are positioned on the left side of the slide, partially overlapping.

## サービスの設定<文書化>

- ・ ①DocuSign連携\_（[帳票名]）文書化
- ・ ②DocuSign連携\_（[帳票名]）\_送付後実行用1
- ・ ③DocuSign連携\_（[帳票名]）\_承認後実行用1

## 【サービス】 ①Docusign連携\_（[帳票名]） 文書化

ワーク エンベロープ サービス ?

文書化や配送などを行う個々のサービスの設定を行います。  
サービスは、ワークの実行中にアクティブになったエンベロープによって、実行され

新規作成 サービスを新規に定義します。

定義済みのサービス

①Docusign連携\_（[帳票名]） 文書化 検索

検索結果の[設定]でサービスの設定画面を表示します。  
[削除]で選択したサービスを削除できます。ただしワークやエンベロープで使用され

名称	メモ
<input type="checkbox"/> ①Docusign連携_（[帳票名]） 文書化	配布用のひな型です。

1. 「サービス」タブを開き、「検索」ボタンをクリックするとインポートしたサービスが表示されます。
2. 「①Docusign連携\_（[帳票名]） 文書化」をダブルクリックで開きます。

# 【サービス】DocuSign連携（[帳票名]）文書化

## サービスの設定

名称	①DocuSign連携_（[帳票名]）文書化
メモ	配布用のひな型です。

## OPROARTS

### 基本情報

URL	<input type="text" value="https://xa-service.oproarts.com/compatible/Facade"/>
接続のタイムアウト <input type="text" value="30"/> 秒、読み込みのタイムアウト <input type="text" value="300"/> 秒	

### リクエスト内容

UID	<input type="text" value="必須※「ドキュメント出力用」"/>
UPW	<input type="text" value="必須※「ドキュメント出力用」"/>
ファイル形式	<input type="text" value="PDF"/>

接続の確認

## 1. 名称\*

- [帳票名]の部分に対象帳票名をご入力ください。名称は自由ですのですべて変更いただいても問題ありません。

## 2. メモ

- 検索ワードになります。自由にご変更ください。

## 3. 基本情報 URL

- <https://xa-service.oproarts.com/compatible/Facade>を指定しています。

## 4. リクエスト内容欄\*

- D3Workerログイン時と同じUIDとUPWを登録してください。

## 5. 接続の確認

- 接続できることをご確認ください。

## 【サービス】②Docusign連携\_（[帳票名]）\_送付後実行用1

ワーク エンベロープ サービス ?

文書化や配送などを行う個々のサービスの設定を行います。  
サービスは、ワークの実行中にアクティブになったエンベロープによって、実行されます。

新規作成 サービスを新規に定義します。

定義済みのサービス

②Docusign連携\_（[帳票名]）\_送付後実行用1 検索

検索結果の[設定]でサービスの設定画面を表示します。  
[削除]で選択したサービスを削除できます。ただしワークやエンベロープで使用されているサービスは削除できません。

	名称	メモ
<input type="checkbox"/>	②Docusign連携_（[帳票名]）_送付後実行用1	配布用のひな型です。

1. 「サービス」タブを開き、「検索」ボタンをクリックするとインポートしたサービスが表示されます。
2. 「②Docusign連携\_（[帳票名]）\_送付後実行用1」をダブルクリックで開きます。

# 【サービス】②DocuSign連携\_（[帳票名]）\_送付後実行用1

## サービスの設定

名称	②DocuSign連携_（[帳票名]）_送付後実行用1
メモ	配布用のひな型です。

## ダミー文書

一つの空のファイルを文書として用いる文書化サービスです。  
文書化サービスを必要としないエンベロープで使用できます。  
このサービスでは、ワークの[文書とデータのマッピング]の設定は使用しません。

## 1. 名称\*

- [帳票名]の部分に対象帳票名をご入力ください。  
名称は自由ですのですべて変更いただいても問題ありません。

## 2. メモ

- 検索ワードになります。自由にご変更ください。

## 【サービス】③Docusign連携\_（[帳票名]）\_承認後実行用1

ワーク エンベロープ サービス ?

文書化や配送などを行う個々のサービスの設定を行います。  
サービスは、ワークの実行中にアクティブになったエンベロープによって、実行され

新規作成 サービスを新規に定義します。

定義済みのサービス

③Docusign連携\_（[帳票名]）\_承認後実行用1 検索

検索結果の[設定]でサービスの設定画面を表示します。  
[削除]で選択したサービスを削除できます。ただしワークやエンベロープで使用され

名称	メモ
<input type="checkbox"/> ③Docusign連携_（[帳票名]）_承認後実行用1	配布用のひな型です。

1. 「サービス」タブを開き、「検索」ボタンをクリックするとインポートしたサービスが表示されます。
2. 「③Docusign連携\_（[帳票名]）\_承認後実行用1」をダブルクリックで開きます。

# 【サービス】③DocuSign連携\_（[帳票名]）\_承認後実行用1

## 1. 名称\*

- [帳票名]の部分に対象帳票名をご入力ください。名称は自由ですのですべて変更いただいても問題ありません。

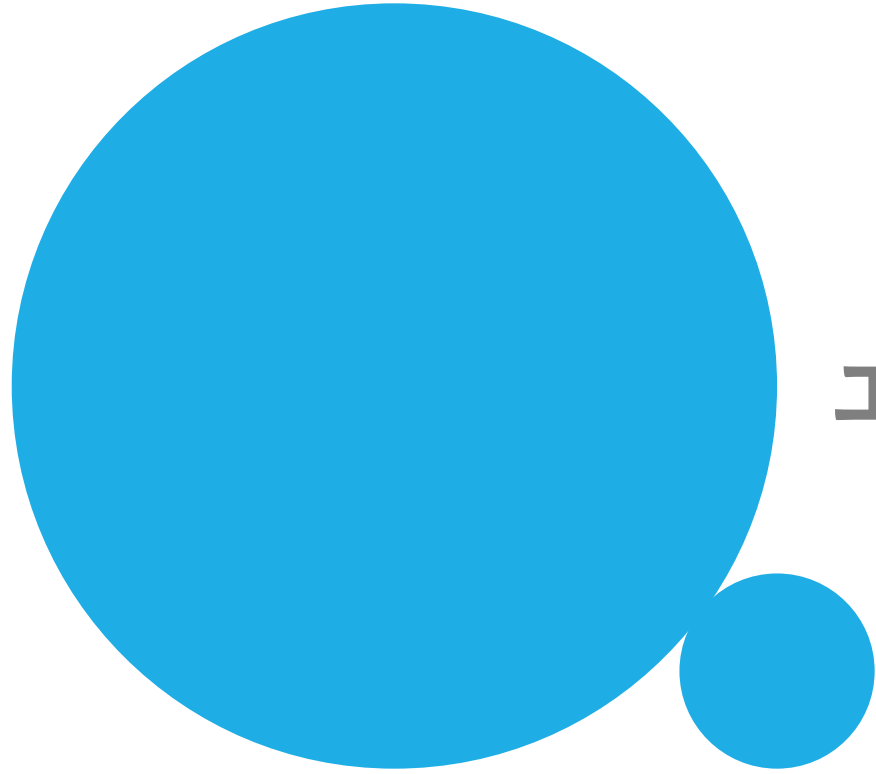
## 2. メモ

- 検索ワードになります。自由にご変更ください。

## 3. リクエストパラメータ\*

- 変更なし

サービスの設定	
名称	③DocuSign連携_（[帳票名]）_承認後実行用1
メモ	配布用のひな型です。
アップロード文書	
ワークの実行時にアップロードされたファイルまたは送信されたテキストを、文書として用いる文書化サービスです。このサービスでは、ワークの[文書とデータのマッピング]の設定は使用しません。	
リクエストパラメータ	DocuSign_file 文書ファイルまたはテキストをD3Workerへ送信する際のHTTPリクエストパラメータ名を指定します。
文書名	 アップロードされたファイル名よりも優先して用いられます。テキストが送信された場合の文書名としても用いられます。
アップロードファイル	
ZIPファイルの場合	解凍しない [アーカイブ順で解凍する][名前順で解凍する]を選択した場合、アップロードされたZIPファイルに含まれる全てのファイルを文書として用います。 [文書名]は使用されず、ZIPファイル内のファイル名が使用されます。
テキストデータ	
文字コード	シフトJIS 送信されたテキストを文書化する際の文字コードを指定します。



# エンベロープの設定

# 【エンベロープ】 ①Docusign連携\_（[帳票名]）\_帳票DX for Salesforce

ワーク エンベロープ サービス ?

エンベロープは、文書化や配送などを行う様々なサービスをひとまとめにした処理ワークの実行中に、特定のデータなどをきっかけにエンベロープがアクティブになり、これによって、データのキー項目の値に応じて、配送方法を変えるなどといったこと

新規作成 エンベロープを新規に作成します。

作成済みのエンベロープ

①Docusign連携\_（[帳票名]）\_帳票DX for Salesforce 検索

検索結果の[設定]でエンベロープの設定画面を表示します。  
[削除]で選択したエンベロープを削除できます。ただしワークで使用されているエンベロープは削除できません。

名称	メモ
<input type="checkbox"/> ①Docusign連携_（[帳票名]）_帳票DX for Salesforce	配布用のひな型です

1. 「エンベロープ」タブを開き、「検索」ボタンをクリックするとインポートしたエンベロープが表示されます。
2. 「①Docusign連携\_（[帳票名]）\_帳票DX for Salesforce」をダブルクリックで開きます。

# 【エンベロープ】 「基本」 タブ

基本	属性	文書化サービス	保管サービス	配送サービス	[①DocuSign連携_ ( [帳
----	----	---------	--------	--------	--------------------

ワークで使用されているエンベロープです。変更する際はご注意ください。

名称	①DocuSign連携_ ( [帳票名] ) _帳票DX for Salesforce	
メモ	配布用のひな型です	
件名	①DocuSign連携_ ( [帳票名] ) _帳票DX for Salesforce	編集

## 「基本」 タブ

- 名称\*
  - [帳票名]の部分に対象帳票名をご入力ください。名称は自由ですのですべて変更いただいても問題ありません。
- メモ
  - 検索ワードになります。自由にご変更ください。
- 件名
  - ログに出てくる情報です。ワーク名を入れておくことをお勧めします。

# 【エンベロープ】 「文書化サービス」 タブ

選択済みの文書化サービス

① Docusign連携\_（[帳票名]）文書化 サー

基本情報

URL サービスの設定を用いる 編集

リクエスト内容

UID サービスの設定を用いる 編集

UPW サービスの設定を用いる 編集

ファイル形式 サービスの設定を用いる ▼

## 「文書化サービス」 タブ

- 項目の変更は不要です。

# 【エンベロープ】「配送サービス」タブ

## 文書の送信

文書の送信方法 サービスの設定を用いる ▼

## 受信者

DocuSignテンプレートにある、名前とメールが空の受信者に対して、名前とメールを指定します。

役割	名前	メール
部長	{取引先責任者} 編集	{メールアドレス} 編集

## すべての受信者へのメッセージ

ここで指定しない場合は、DocuSignテンプレートの設定が用いられます。

メールの件名 電子署名のご依頼 編集

メールメッセージ {取引先責任者 姓}様  
お世話になっております。株式会社オプロです。

内容ご確認の上、ご署名ください。  
お手数をおかけしますが、よろしくお願い

{○○} (パラメータ)  
Salesforceのデータを差  
し込む箱

## フィールドの値

DocuSignテンプレートにあるフィールドに値を指定します。ここで指定しない場合は、DocuSignテンプレートの設定が用いられます。

チェックボックスは以下の場合にチェックされます。

- ・[値]が「true」
- ・[値]にカンマ区切りで複数の値を指定し、そのいずれかがDocuSignテンプレートのチェックボックスの値と同じ

役割	ラベル	値
部長	チェックボックス 960d3af8-f0b4-432b-9426-ab11b1fba8b9	サービスの設定を用いる 編集
	チェックボックス ad367dc2-14f3-4e82-8ba7-a2ca1953c676	サービスの設定を用いる 編集
	チェックボックス ece4e527-de0c-4798-befe-a090cedc2c3f	サービスの設定を用いる 編集

## ● {○○}について ※重要

- Salesforceの項目を差し込むタグです。D3Workerでは「パラメータ」と表現しています。エンベロープでは、Salesforceから差し込む項目の位置を指定しています。
  - ※「サービス」ではパラメータを使用できません。

## ● 「サービスの設定を用いる」と記載されている項目

- 適宜、要件に応じて変更してください。

# 【エンベロップ】 「配送サービス」 タブ

文書の送信

文書の送信方法

サービスの設定を用いる

受信者

DocuSignテンプレートにある、名前とメールが空の受信者に対して、名前とメールを指定します。

役割	名前	メール
部長	{取引先責任者}編集	{メールアドレス}編集

すべての受信者へのメッセージ

ここで指定しない場合は、DocuSignテンプレートの設定が用いられます。

メールの件名	電子署名のご依頼編集
メールメッセージ	<div>{取引先責任者 姓}様 お世話になっております。株式会社オプロです。  内容ご確認の上、ご署名ください。 お手数をおかけしますが、よろしくお願い申し上げます。</div> 編集

フィールドの値

DocuSignテンプレートにあるフィールドに値を指定します。ここで指定しない場合は、DocuSignテンプレートの設定が用いられます。

チェックボックスは以下の場合にチェックされます。

- ・[値]が「true」
- ・[値]にカンマ区切りで複数の値を指定し、そのいずれかがDocuSignテンプレートのチェックボックスの値と同じ

役割	ラベル	値
部長	チェックボックス 960d3af8-f0b4-432b-9426-ab11b1fba8b9	サービスの設定を用いる編集
	チェックボックス ad367dc2-14f3-4e82-8ba7-a2ca1953c676	サービスの設定を用いる編集
	チェックボックス ece4e527-de0c-4798-befe-a090cedc2c3f	サービスの設定を用いる編集

## 1. 文書の送信

- 書類の送信方法を指定します。

## 2. 受信者

- DocuSign側で名前・メールが空の受信者を用意するとD3Wokrer上の画面で送付先を指定することが可能です。

※D3Wokrer側で指定する際は{}を利用することで動的に設定できま

## 3. すべての受信者へのメッセージ

- 書類送信時、送付先へ通知されるメッセージ内容を指定します。こちらも受信者同様動的な項目を指定可能です。

## 4. フィールドの値

- 読み込んだDocuSignのテンプレートにフィールド(チェックボックス、テキスト、ドロップダウンリスト、ラジオボタン)が設置されている場合は、ここで初期値を設定可能です。

# 【エンベロープ】「配送サービス」タブ

## DocuSignへの送信後に実行するワーク

ワークには、1行のUTF8のデータが渡されます。

実行するワーク ②DocuSign連携\_([帳票名])\_帳票DX for Salesforce(送付後実行用) 編集

### データCSV

データCSVの項目には、DocuSignエンベロープの情報と、任意の指定値を使用できます。  
DocuSignエンベロープの状態は、通常は「Sent」です。DocuSignテンプレートの設定によっては他の値になるかも知れません。

#### フィールド値

1	{Partner API URL}	編集
2	{セッションID}	編集
3	{ユーザID}	編集
4	{組織ID}	編集
5	{レコードID}	編集

## DocuSignエンベロープ終了後に実行するワーク

ワークには、1行のUTF8のデータと、DocuSignエンベロープの文書のPDFが渡されます。

実行するワーク ③DocuSign連携\_([帳票名])\_帳票DX for Salesforce(承認後実行用) 編集

### ファイルのパラメータ名

DocuSign\_file 編集

DocuSignエンベロープの文書を渡すパラメータ名を指定します。  
パラメータ名が指定されていない場合は文書は渡されません。

☐ 完了証明書を付ける ☐ 付けない ☒ サービスの設定を用いる

### データCSV

データCSVの項目には、DocuSignエンベロープの情報、文書フィールドの値と、任意の指定値を使用できます。  
DocuSignエンベロープの状態は、完了時には「Completed」、辞退された場合は「Declined」、無効化された場合は「Voided」を値とします。  
DocuSignエンベロープの辞退・無効化理由は、辞退または無効化された場合にのみ値が設定されます。

#### フィールド値

1	{レコードID}	編集
---	----------	----

## 1. DocuSignへの送信後に実行するワーク

1. DocuSignを送付後に実行するワークを指定します。

## 2. DocuSignエンベロープ終了後に実行するワーク

1. 顧客の署名が完了した際に実行するワークを指定します。

現状設定されている値は後続処理に必要な値のため、あらかじめ入力済みとなっております。

# 【エンベロープ】 ②Docusign連携\_([帳票名])\_帳票DX for Salesforce(送付後実行用)

ワーク エンベロープ サービス ?

エンベロープは、文書化や配送などを行う様々なサービスをひとまとめにした処理ワークの実行中に、特定のデータなどをきっかけにエンベロープがアクティブになり、これによって、データのキー項目の値に応じて、配送方法を変えるなどといったこと

新規作成 エンベロープを新規に作成します。

作成済みのエンベロープ

②Docusign連携\_([帳票名])\_帳票DX for Salesforce(送付後実行用) 検索

検索結果の[設定]でエンベロープの設定画面を表示します。  
[削除]で選択したエンベロープを削除できます。ただしワークで使用されているエン

名称	メモ
<input type="checkbox"/> ②Docusign連携_([帳票名])_帳票DX for Salesforce(送付後実行用)	配布用のひな型です。

1. 「エンベロープ」タブを開き、「検索」ボタンをクリックするとインポートしたエンベロープが表示されます。
2. 「②Docusign連携\_([帳票名])\_帳票DX for Salesforce(送付後実行用)」をダブルクリックで開きます。

# 【エンベロープ】 「基本」 タブ

基本	属性	文書化サービス	保管サービス	配送サービス	gn連携_([帳票名])_帳票
ワークで使用されているエンベロープです。変更する際はご注意ください。					
名称	②Docusign連携_([帳票名])_帳票DX for Salesforce(送付後実行用)				
メモ	<div>配布用のひな型です。</div>				
件名	②Docusign連携_([帳票名])_帳票DX for Salesforce(送付後実行用) <span>編集</span>				

## 「基本」 タブ

- 名称\*

- [帳票名]の部分に対象帳票名をご入力ください。名称は自由ですのですべて変更いただいても問題ありません。

- メモ

- 検索ワードになります。自由にご変更ください。

- 件名

- ログに出てくる情報です。ワーク名を入れておくことをお勧めします。

# 【エンベロープ】②Docusign連携\_([帳票名])\_帳票DX for Salesforce(送付後実行用)

Salesforceの接続情報					
インスタンスURL	<input type="text" value="{インスタンスURL}"/> <a href="#">編集</a>				
セッションID	<input type="text" value="{セッションID}"/> <a href="#">編集</a>				
ユーザーID	<input type="text" value="{ユーザーID}"/> <a href="#">編集</a>				
組織ID	<input type="text" value="{組織ID}"/> <a href="#">編集</a>				
文書ファイル					
説明	<input type="text" value="サービスの設定を用いる"/> <a href="#">編集</a>				
カスタム項目	<table><tr><td>API参照名</td><td>値</td></tr></table>	API参照名	値		
API参照名	値				
文書データの登録	<input type="radio"/> する <input type="radio"/> しない <input checked="" type="radio"/> サービスの設定を用いる				
ライブラリ					
ライブラリ	<input type="text" value="サービスの設定を用いる"/> <a href="#">編集</a> <small>ライブラリが指定されている場合にのみ、ファイルをライブラリに公開します。</small>				
フォルダ	<input type="text" value="サービスの設定を用いる"/> <a href="#">編集</a> <small>フォルダにファイルを登録する場合は、「フォルダ1/フォルダ2」のように、フォルダを「/」区切りで指定してください。存在しないフォルダは作成されます。</small>				
オブジェクト					
オブジェクトのAPI参照名	<input type="text" value="Contract"/> <a href="#">編集</a> <small>API参照名が指定されている場合にのみ、レコードの作成や更新・ファイル添付を行います。</small>				
オブジェクトレコードのID	<input type="text" value="{objectId}"/> <a href="#">編集</a> <input type="checkbox"/> SOQL <small>レコードのIDで指定されたレコードを更新・ファイル添付します。 レコードが存在しない場合、レコードのIDが空白の場合はレコードを作成して添付します。 [SOQL]をチェックすると、指定値を、レコードのIDを取得するためのSOQLとして扱います。 SOQLは、一つの項目を、一件だけ取得するものとしてください。 SOQL内のエンベロープパラメータ値はエスケープされます。したがって引用符を含むSOQL全体をエンベロープパラメータで指定することはできません。</small>				
ファイルの添付	<input type="radio"/> する <input type="radio"/> Attachmentにする <input checked="" type="radio"/> しない <input type="radio"/> サービスの設定を用いる <small>添付しない場合は、レコードの作成や更新のみを行います。 Attachmentには文書ファイルのカスタム項目は適用されません。</small>				
項目	<small>[SOQL]をチェックすると、指定値を、項目の値を取得するためのSOQLとして扱います。 SOQLは、一つの項目を、一件だけ取得するものとしてください。 SOQL内のエンベロープパラメータ値はエスケープされます。したがって引用符を含むSOQL全体をエンベロープパラメータで指定することはできません。</small> <table><tr><td>API参照名</td><td>値</td></tr><tr><td>Status</td><td><input type="text" value="In Approval Process"/> <a href="#">編集</a> <input type="checkbox"/> SOQL</td></tr></table>	API参照名	値	Status	<input type="text" value="In Approval Process"/> <a href="#">編集</a> <input type="checkbox"/> SOQL
API参照名	値				
Status	<input type="text" value="In Approval Process"/> <a href="#">編集</a> <input type="checkbox"/> SOQL				

## 1. 文書化サービス：変更不要

## 2. 配送サービス

### 1. Salesforce接続情報：変更不要

### 2. 文書ファイル・ライブラリ

- 下記サイトを参考に、用途に応じて変更ください。

[D3Workerのサービス設定（Salesforce Files \[配送\]） – OPSS – 株式会社オプロ \(opro.net\)](#)

### 3. オブジェクト

- 更新するオブジェクトやSalesforce項目を指定します。
- ファイルの添付有無をご変更いただけます。

## 【エンベロープ】 ③Docusign連携\_([帳票名])\_帳票DX for Salesforce(承認後実行用)

ワーク エンベロープ サービス ?

エンベロープは、文書化や配送などを行う様々なサービスをひとまとめにした処理ワークの実行中に、特定のデータなどをきっかけにエンベロープがアクティブになり、これによって、データのキー項目の値に応じて、配送方法を変えるなどといったこと

新規作成 エンベロープを新規に作成します。

作成済みのエンベロープ

③Docusign連携\_([帳票名])\_帳票DX for Salesforce(承認後実行用) 検索

検索結果の[設定]でエンベロープの設定画面を表示します。  
[削除]で選択したエンベロープを削除できます。ただしワークで使用されているエン

名称	メモ
<input type="checkbox"/> ③Docusign連携_([帳票名])_帳票DX for Salesforce(承認後実行用)	配布用のひな型です。

1. 「エンベロープ」タブを開き、「検索」ボタンをクリックするとインポートしたエンベロープが表示されます。
2. 「③Docusign連携\_([帳票名])\_帳票DX for Salesforce(承認後実行用)」をダブルクリックで開きます。

# 【エンベロープ】 「基本」 タブ

基本	属性	文書化サービス	保管サービス	配送サービス	gn連携_([帳票名])_帳票I
ワークで使用されているエンベロープです。変更する際はご注意ください。					
名称	③Docusign連携_([帳票名])_帳票DX for Salesforce(承認後実行用)				
メモ	配布用のひな型です。				
件名	③Docusign連携_([帳票名])_帳票DX for Salesforce(承認後実行用)				編集

## 「基本」 タブ

- 名称\*

- [帳票名]の部分に対象帳票名をご入力ください。名称は自由ですのですべて変更いただいても問題ありません。

- メモ

- 検索ワードになります。自由にご変更ください。

- 件名

- ログに出てくる情報です。ワーク名を入れておくことをお勧めします。

# 【エンベロープ】 ③Docusign連携\_([帳票名])\_帳票DX for Salesforce(承認後実行用)

Salesforceの接続情報

インスタンスURL

{インスタンスURL}

編集

セッションID

{セッションID}

編集

ユーザーID

{ユーザID}

編集

組織ID

{組織ID}

編集

文書ファイル

説明

サービスの設定を用いる

編集

カスタム項目

API参照名

値

文書データの登録

☐ する

☐ しない

☒ サービスの設定を用いる

ライブラリ

ライブラリ

サービスの設定を用いる

編集

ライブラリが指定されている場合にのみ、ファイルをライブラリに公開します。

フォルダ

サービスの設定を用いる

編集

フォルダにファイルを登録する場合は、「フォルダ1/フォルダ2」のように、フォルダを「/」区切りで指定してください。存在しないフォルダは作成されます。

オブジェクト

オブジェクトのAPI参照名

Contract

編集

API参照名が指定されている場合にのみ、レコードの作成や更新・ファイル添付を行います。

オブジェクトレコードのID

objectId

編集

☐ SOQL

レコードのIDで指定されたレコードを更新・ファイルを添付します。  
レコードが存在しない場合、レコードのIDが空白の場合はレコードを作成して添付します。  
  
[SOQL]をチェックすると、指定値を、レコードのIDを取得するためのSOQLとして扱います。  
SOQLは、一つの項目を、一件だけ取得するものとしてください。  
SOQL内のエンベロープパラメータ値はエスケープされます。したがって引用符を含むSOQL全体をエンベロープパラメータで指定することはできません。

ファイルの添付

☐ する

☐ Attachmentにする

☒ しない

☐ サービスの設定を用いる

添付しない場合は、レコードの作成や更新のみを行います。  
Attachmentには文書ファイルのカスタム項目は適用されません。

項目

[SOQL]をチェックすると、指定値を、項目の値を取得するためのSOQLとして扱います。  
SOQLは、一つの項目を、一件だけ取得するものとしてください。  
SOQL内のエンベロープパラメータ値はエスケープされます。したがって引用符を含むSOQL全体をエンベロープパラメータで指定することはできません。

API参照名

値

Status

Activated

編集

☐ SOQL

## 1. 文書化サービス：変更不要

## 2. 配送サービス

### 1. Salesforce接続情報：変更不要

### 2. 文書ファイル・ライブラリ

1. 下記サイトを参考に、用途に応じて変更ください。

[D3Workerのサービス設定（Salesforce Files \[配送\]） – OPSS - 株式会社オプロ \(opro.net\)](#)

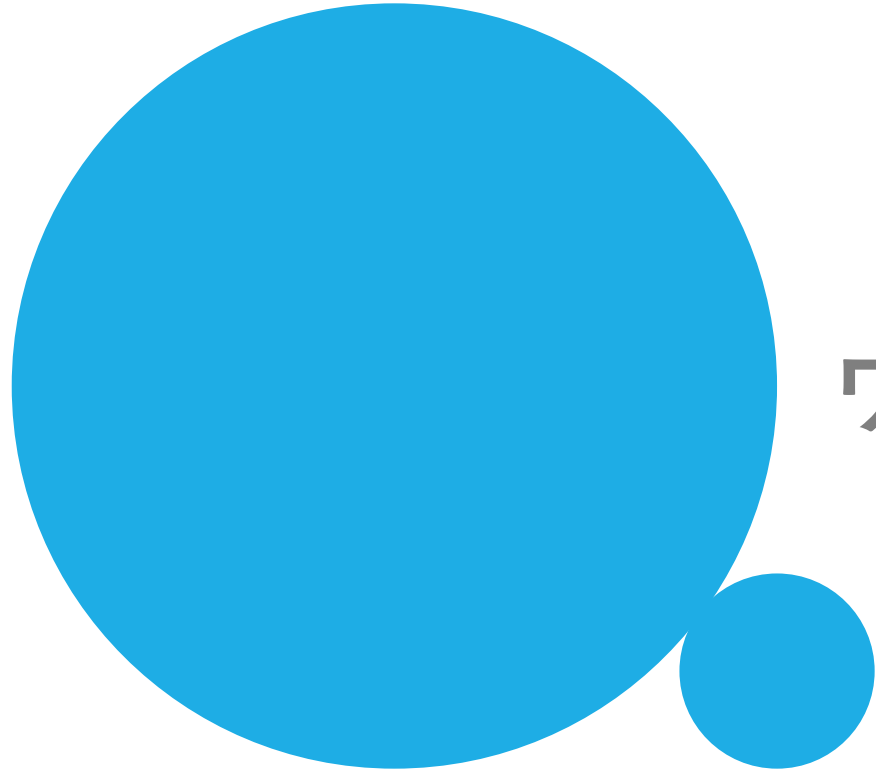
### 3. オブジェクト

1. 更新するオブジェクトやSalesforce項目を指定します。
2. ファイルの添付有無をご変更いただけます。

Confidential

©2023 OPRO Co., Ltd.

36



# ワークの設定

# 【ワーク】①Docusign連携\_（[帳票名]）\_帳票DX for Salesforce

ワーク

エンベロープ

サービス

?

**D3Worker**は、データを取得し、その内容にしたがって文書化や配送などを行うための一連の動作を記述するのが**ワーク**です。D3Workerはワークを実行することでワークでは、

- 取得するデータの定義
- サービスの集合であるエンベロープの指定と、そのパラメータとデータとのマッピング
- データを文書化する際の、文書とデータとのマッピング

を行います。

新規作成

ワークを新規に作成します。

インポート

ファイルからワークを

作成済みのワーク

①Docusign連携\_（[帳票名]）\_帳票DX for Salesforce

検索

検索結果の[設定]でワークの設定画面を表示します。  
[削除]で選択したワークの削除が、[エクスポート]で選択したワークのエクスポート

名称	メモ
<input type="checkbox"/> ①Docusign連携_（[帳票名]）_帳票DX for Salesforce	配布用のひな型です。

1. 「ワーク」タブを開き、「検索」ボタンをクリックするとインポートしたワークが表示されます。
2. 「①Docusign連携\_（[帳票名]）\_帳票DX for Salesforce」をダブルクリックで開きます。

# 【ワーク】 「基本」 タブ

基本	データソース	エンベロープ	文書とデータのマッピング	①Docusign連携_ ( [帳票名] ) _帳票DX for Salesforce
名称	①Docusign連携_ ( [帳票名] ) _帳票DX for Salesforce			
メモ	配布用のひな型です。			
件名	①Docusign連携_ ( [帳票名] ) _帳票DX for Salesforce			編集

## ● 名称\*

- [帳票名]の部分に対象帳票名をご入力ください。名称は自由ですのですべて変更いただいても問題ありません。

## ● メモ

- 検索ワードになります。自由にご変更ください。

## ● 件名

- ログに出てくる情報です。ワーク名を入れておくことをお勧めします。

# 【ワーク】 「データソース」 タブ

## ● フィールド名\* ※重要

- Salesforceから受け取る項目を指定しています。ここに指定されているデータを、後続のエンベロープや帳票に割り当てます。
- 実際のデータの指定（オブジェクト名・項目名等）は、Salesforce画面で行います。ここでは項目名のみの定義となります。
- エンベロープで{パラメータ}を追加した場合は、紐づける項目名をここに追加します。

基本

データソース

エンベロープ

文書とデータのマッピング

CSVの形式

文字コード

シフトJIS

先頭行

☐ データとして使用しない

フィールド

	フィールド名	+	×
1	Partner API URL	▼	×
2	セッションID	▲▼	×
3	ユーザID	▲▼	×
4	レコードID	▲▼	×
5	組織ID	▲▼	×
6	※※帳票に※※	▲▼	×
7	※※必要な※※	▲▼	×
8	※※項目を入力してください※※	▲	×
	CSVを取得	+	×

一括追加

追加するフィールド数 

追加

フィールドの読み込み

ここにCSVファイルをドロップしてください。  
先頭行をフィールド名として読み込みます。

ファイルの選択

ファイルが選択されていません

キャンセル

実行

## 【ワーク】 「データソース」 タブ

8	※※契約書に※※	▲ ▼ ×
9	※※表示する※※	▲ ▼ ×
10	※※項目を入力してください※※	▲ ▼ ×

CSVを取得 + ×

新規追加

### ● 帳票に必要なフィールドを追加する

- 適宜帳票テンプレートのフィールドに使用しているフィールド名を追加してください。

oproarts

CSV 定義

区切り記号付き  
フィールド区切り記号: ,  
文字列の引用符: "  
☐ 先頭行を無視する  
☐ データ出力条件

このフィールド名をデータソースに追加する

フィールド名	データタイプ	形式
会社名_請求先	ext	
見積番号	ext	
注文番号	ext	
請求番号	ext	
郵便番号_請求先	ext	
住所 都道府県 請求先	ext	

追加 削除 上へ 下へ 形式の読み込み... サンプルCSV

帳票DX

要素 レイヤー データセット

データセット +

- Dataset1
  - 見積番号
  - 取引先名
  - 取引先住所
  - 郵便番号
  - 合計金額
  - 税額
  - 小計
  - 備考
- Dataset2
  - 製品コード
  - 明細

## 【ワーク】 「エンベロープ」 タブ

選択済みのエンベロープ

① DocuSign連携\_ ( [帳票名] ) \_ 帳票DX for Salesforce

アクティブ化するフィールド

エンベロープフィールド ▼

アクティブ化するフィールド値

☒ ELSEとして使用する

エンベロープパラメータの値		
{Partner API URL}	[Partner API URL]	編集
{セッションID}	[セッションID]	編集
{ユーザID}	[ユーザID]	編集
{レコードID}	[レコードID]	編集
{会社名}	[会社名]	編集
{取引先責任者 姓}	[取引先責任者 姓]	編集
{組織ID}	[組織ID]	編集

- このワークで使用するエンベロープを紐づけています。サンプルの項目に関してはエンベロープを指定済みです。
- エンベロープで指定したパラメータにどのデータを引き渡すのか紐づけをしています。データソースで追加したフィールドを紐づける必要があります。
  - エンベロープで新しくパラメータを作成した場合は、データソースにフィールドを追加の上紐づけを行ってください。  
(次ページ説明)

# 【ワーク】 「エンベロープ」 タブ <パラメータの紐づけ方>

エンベロープ> 設定

すべての受信者へのメッセージ

ここで指定しない場合は、DocuSignテンプレートの設定

メールの件名	契約書の送付	編集
メールメッセージ	<div>{会社名} {取引先責任者 姓}様</div> <p>契約書を送付いたします。 ご確認のほどよろしくお願い申し上げます。</p>	編集

パラメータを新規追加

ワーク> エンベロープ

選択済みのエンベロープ

DocuSign連携\_ ( [帳票名] ) \_帳票DX for Salesforce

アクティブ化するフィールド

エンベロープフィールド

アクティブ化するフィールド値

☒ ELSEとして使用する

エンベロープパラメータの値

{Partner API URL}	[Partner API URL]	編集
{セッションID}	[セッションID]	編集
{ユーザID}	[ユーザID]	編集
{レコードID}	[レコードID]	編集
{会社名}	[会社名]	編集
{取引先責任者 姓}	[取引先責任者 姓]	編集
{組織ID}	[組織ID]	編集

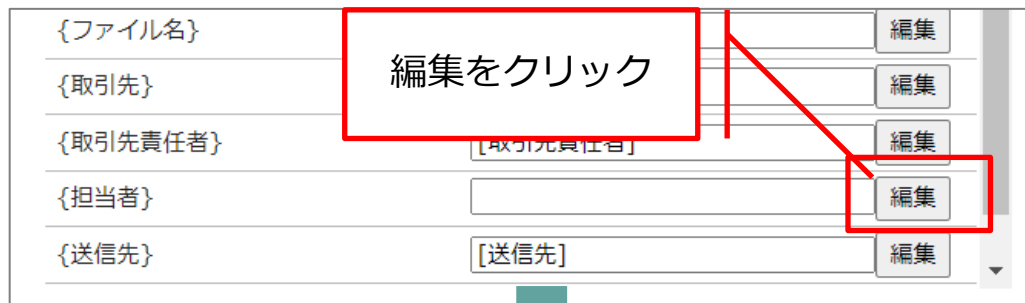
追加されている

## パラメータの紐づけ方

- 「エンベロープ」の設定で{〇〇}（パラメータ）を作成すると、ワークのエンベロープにも追加されます。

# 【ワーク】 「エンベロープ」 タブ <パラメータの紐づけ方>

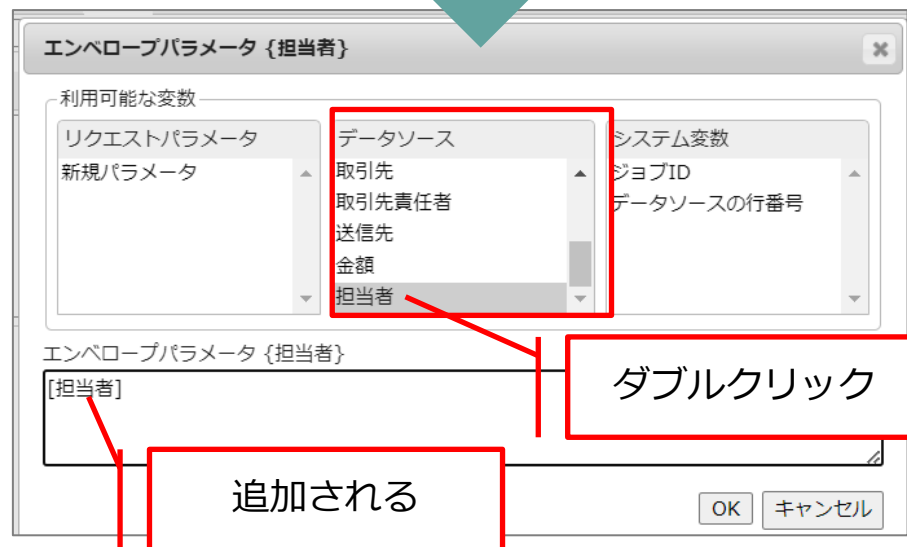
ワーク>エンベロープ



{ファイル名}		編集
{取引先}		編集
{取引先責任者}	[取引先責任者]	編集
{担当者}		編集
{送信先}	[送信先]	編集

## パラメータの紐づけ方

1. パラメータの「編集」をクリックします。
2. 「データソース」欄にあるフィールド名から紐づけたいフィールドをダブルクリックします。
  1. ダブルクリックすると、下枠の「エンベロープパラメータ」に[〇〇]と入力されます。
3. OKをクリックします。



エンベロープパラメータ {担当者}

利用可能な変数

リクエストパラメータ 新規パラメータ	データソース 取引先 取引先責任者 送信先 金額 担当者	システム変数 ジョブID データソースの行番号
-----------------------	---	-------------------------------

エンベロープパラメータ {担当者}

[担当者]

追加される

ダブルクリック

OK キャンセル

# 【ワーク】「文書とデータのマッピング」タブ

基本 データソース エンベロープ 文書とデータのマッピング

文書名 ※ファイル命名規則を入力※ 編集

テンプレート

テンプレート名 バケット名/フォルダ名/テンプレート名 ※必須※ 編集  
☐ フォントの埋め込みを指示する

切り替えフィールド

マッピング

データセットの追加

データセット1

	データセットのフィールド値		+	×
1	※※帳票に※※ 編集	▼	+	×
2	※※必要な※※ 編集	▲ ▼	+	×
3	※※項目を入力してください※※ 編集	▲	+	×
			+	×

行の制御 単一行のCSV ☐ 先頭に空白行を挿入する

一括設定

追加するフィールド数  追加

データソースの全てのフィールド 設定

## ● 文書名

- 帳票のファイル名の命名規則です。
- 編集ボタンから、データソースと固定文言を組み合わせて指定することができます。
- 例：[取引先名]様向け請求書\_[TODAY]

# 【ワーク】「文書とデータのマッピング」タブ

マッピング

データセットの追加

データセット1

	データセットのフィールド値		
1	[取引先名]	編集	▼ ×
2	[取引先責任者]	編集	▲ ▼ ×
3	[契約開始日]	編集	▲ ▼ ×
4	[契約終了日]	編集	▲ ▼ ×
5	※※↑の項目等の書面に※※	編集	▲ ▼ ×
6	※※配置する項目を※※	編集	▲ ▼ ×
7	※※指定してください※※	編集	▲ ×

一括設定

追加するフィールド数  追加

データソースの全てのフィールド 設定

## データセット

- 帳票テンプレートのマッピング定義と対応させます。
  - データセットの数はテンプレートに合わせて追加・削除してください。
- 「編集」ボタンからデータソースのフィールドを追加してください。
  - []で括られていればOK
  - 一括設定から一括で入れて不要なフィールドを削除していくのが効率的です。
  - 順番もテンプレートと同じにしてください。

フィールド8

利用可能な変数

リクエストパラメータ  
新規パラメータ

データソース  
金額  
※※帳票に必要な※※  
※※項目を※※  
※※ここに※※  
※※追加してください※※

エンベロープ情報  
件名  
属性1  
属性2  
属性3  
属性4

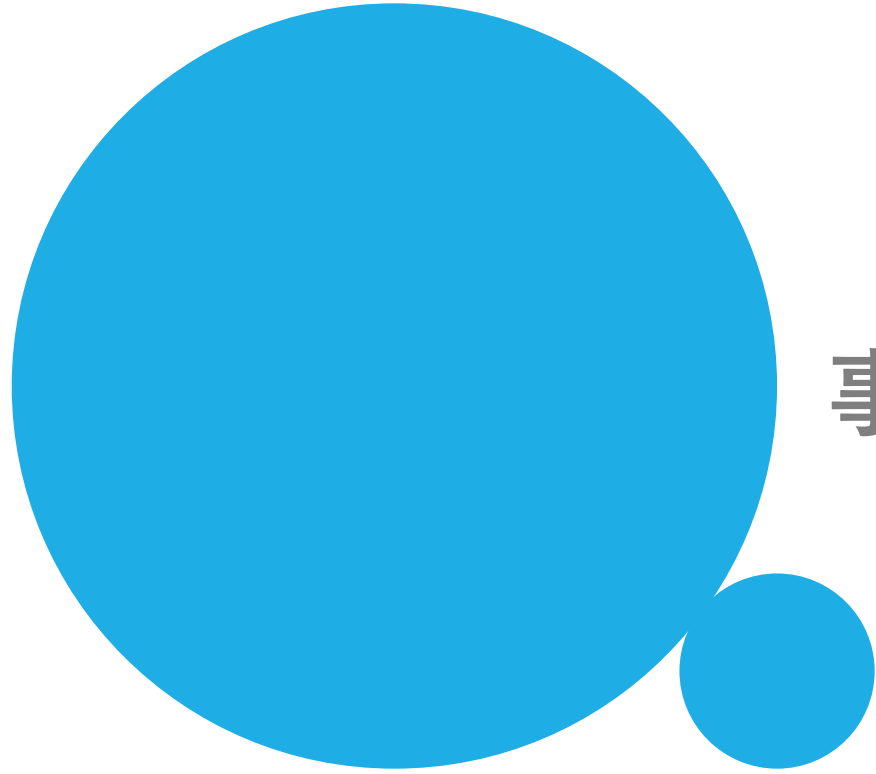
システム変数  
ジョブID  
データソースの行番号  
データセットの行番号

フィールド8  
[※※帳票に必要な※※]

ダブルクリック

[]で括られればOK

OK キャンセル

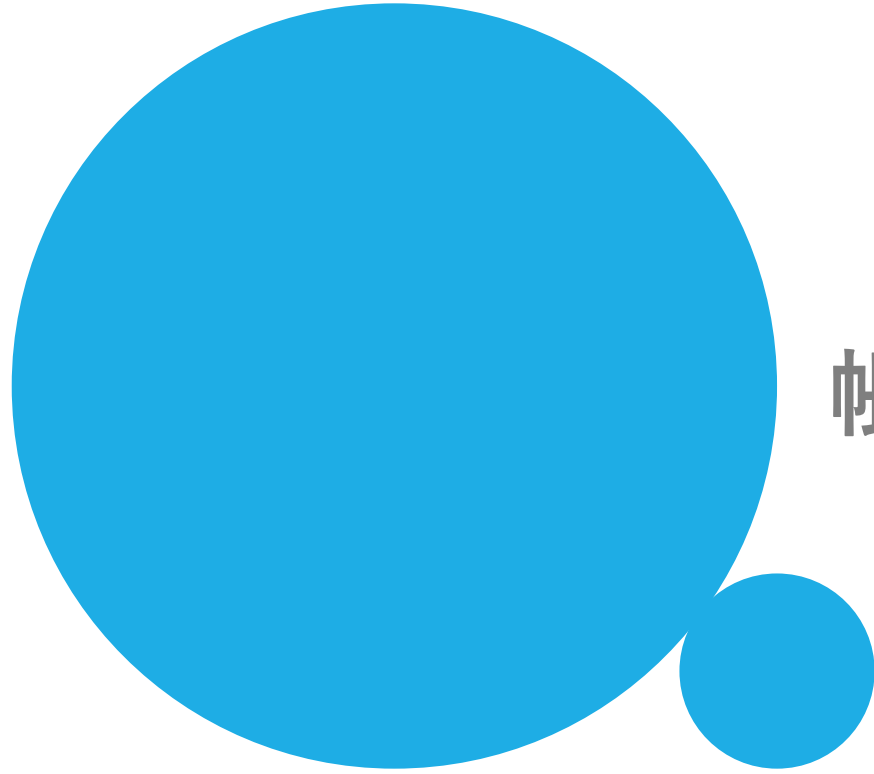


# 事前準備

# D3Workerの検証

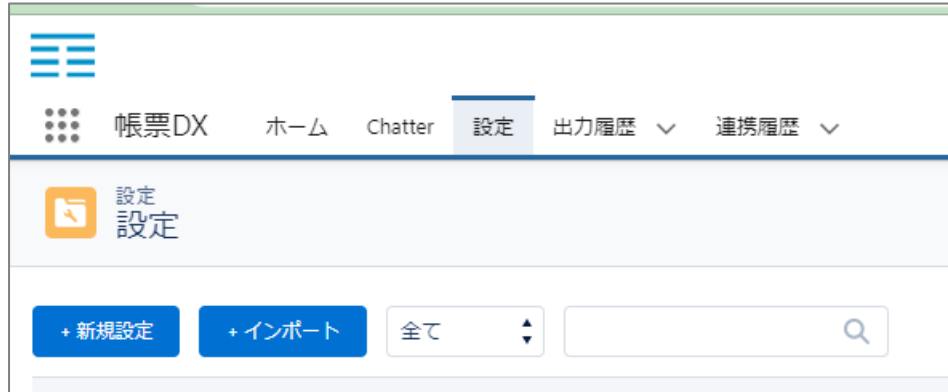
名称	メモ	
<input type="checkbox"/> ①DocuSign連携_（[帳票名]）_帳票 DX for Salesforce	配布用のひな型です。	2025/11/07 13:34:48 <span style="border: 2px solid red; padding: 2px;">検査</span> 設定 コピー

- 最後にワークの検証を行い、設定漏れがないかを確認します。
- 「ワーク」タブで、検査を行うワークの右にある「検査」をクリックします。
- OK：「実行可能な状況です」と表示されます。
- NG：どこの設定が不足しているか表示されます。



# 帳票DX for Salesforceの設定

# 帳票DX for Salesforceの設定



- Salesforceにログインし、「帳票DX」の「設定」タブを開きます。
- 「新規設定」をクリックします。

# 基本設定

設定  
基本設定

設定名  
DocuSign連携\_契約書送付

出力/連携

出力

☐ PDF

☐ Excel

☐ Word

☐ PowerPoint

連携

☒ D3Worker

タイプ

☐ 一覧型

☒ 単票・ヘッダー明細型

出力方法

☐ ダウンロード

☐ メモ&添付ファイル保存

## 1. 設定名：

- 一意の名称を付けてください。

## 2. 出力/連携：

- D3Workerを選択

## 3. タイプ：

- 単票・ヘッダー明細型を選択

# オブジェクト選択

使用するオブジェクトを選択します。

## 1. 主オブジェクト

- メインとなるオブジェクトです。
- ボタンを設置するオブジェクトになります。

## 2. 明細オブジェクト

- 不要であれば選択なしです。
- 明細レコードの利用がある場合は指定してください。

設定  
オブジェクト選択

設定名 DocuSign連携\_契約書送付

オブジェクト一覧

(フィルター)

オブジェクト名	API参照名
<input type="checkbox"/> アクションプラン	ActionPlan
<input type="checkbox"/> 活動履歴	ActivityHistory
<input type="checkbox"/> 添付されたコンテンツドキュメント	AttachedContentDocument
<input type="checkbox"/> 添付ファイル	Attachment
<input type="checkbox"/> フィード: 請求	Billing__Feed
<input type="checkbox"/> 履歴: 請求	Billing__History
<input type="checkbox"/> メモ、添付ファイル、Google ...	CombinedAttachment
<input type="checkbox"/> コンテンツドキュメントリンク	ContentDocumentLink

オブジェクト選択

1. 主オブジェクトを選択してください

契約

2. 明細オブジェクトを選択してください(2件まで選択可能)

オブジェクト名	API参照名
<input type="checkbox"/> 請求明細	BillingDetail__c

戻る 次へ

# 項目選択/出力詳細

設定  
項目選択 / 出力詳細

設定名  
キャプチャ用請求書\_請求OBJ\_pdf(Drive連携)

ワーク  
Drive配信 ([帳票名]) 帳票DX for Salesforce

## ワーク：

- D3Workerのワーク一覧がプルダウンに出ています。利用するワーク名を選択してください。
- ここにワーク名が出てこない場合は、前述の検査を行ってください。

オブジェクト  
請求

項目一覧  
(フィルター)

項目名	API参照名
<input type="checkbox"/> カスタムオブジェクト ID Id	
<input type="checkbox"/> 削除 IsDeleted	
<input type="checkbox"/> 請求番号 Name	
<input type="checkbox"/> 作成日 CreatedDate	
<input checked="" type="checkbox"/> 作成者 ID CreatedById	

項目選択 / 出力詳細  
項目選択 パラメータ 連携履歴

項目名	API参照名	フィールド名
		TODAY
		組織ID
		artner API URL
		recordId

式追加

## 項目選択

- オブジェクトの項目一覧が左側に表示されています。
- 項目を選択し、「→」で右側に移動することで項目選択が可能です。

# 項目選択/出力詳細

項目選択 / 出力詳細

項目選択 パラメータ 連携履歴

項目名	API参照名
<input type="checkbox"/> TODAY	TODAY()

フィールド名

- TODAY
- 組織ID
- artner API URL
- recordId
- session\_Id

式追加

フィールド名に対応する項目を追加する。

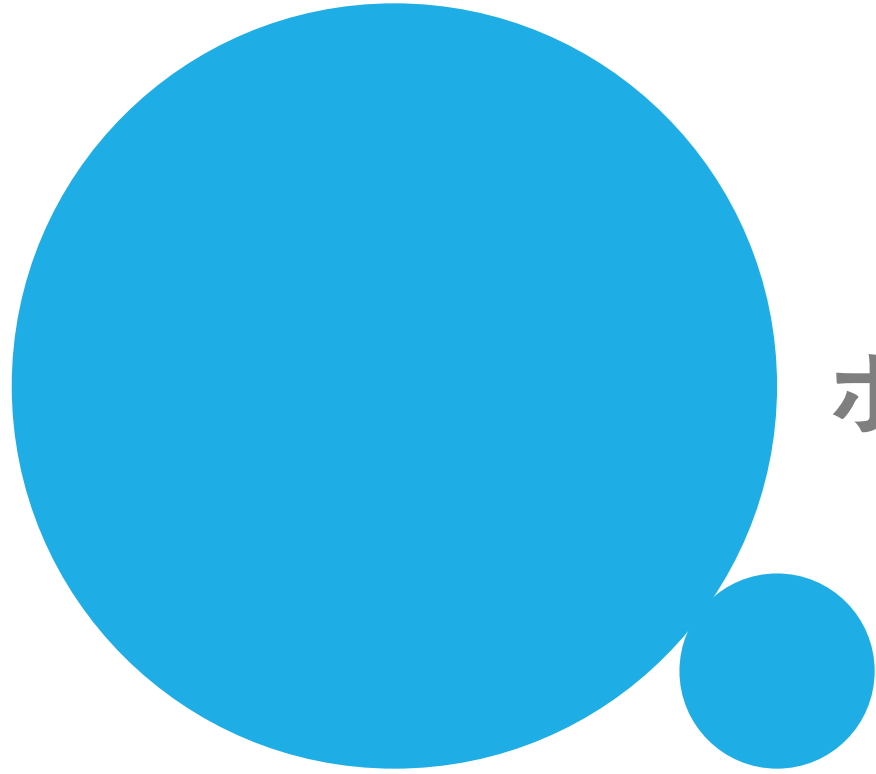
- フィールド名

- ここにはD3Workerのデータソースが表示されています。このデータベースに渡すSalesforceの項目を指定していきます。

- 項目名

- 右のフィールド名に対応する項目をここに追加します。順番もフィールド名に合わせてください。

完了したら保存してください。



# ボタン作成

# ボタンの作成

- 設定を開きます。
- 「ボタン生成」 ボタンをクリックします。

 設定  
請求書\_帳票DXデモ用\_請求OBJ\_PDF

出力/連携	PDF	タイプ	ヘッダー明細型
出力方法	ダウンロード		
主オブジェクト	請求	明細オブジェクト	請求明細
作成者	開発者	作成日時	2023/04/19 13:50
更新者	開発者	更新日時	2023/08/15 17:41

主 (請求) 明細 (請求明細)

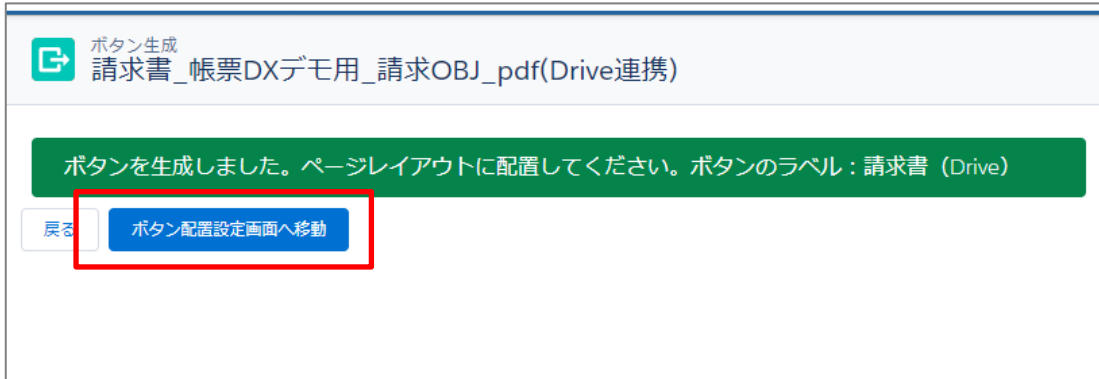
項目名	式
請求番号	
作成日	
請求書発行日	
合計	
合計税額	
税込合計	

× キャンセル ⚙️ 設定編集 ≡ 項目編集 📐 レイアウト ➡️ 出力確認 🔗 ボタン生成

# ボタンの作成（ボタン設定）

- ボタンの種類
  - アクションを選択
- ボタンを設置する場所
  - 任意
- 活動履歴作成
  - 任意
- ボタンのラベル
  - ボタン名の名称
- ボタンの名前
  - API参照名
- ボタンの説明
  - ボタンの内容を任意で記述します。

# ボタンの作成



1. 必要な事項を入力したら「ボタン生成」ボタンをクリックします。

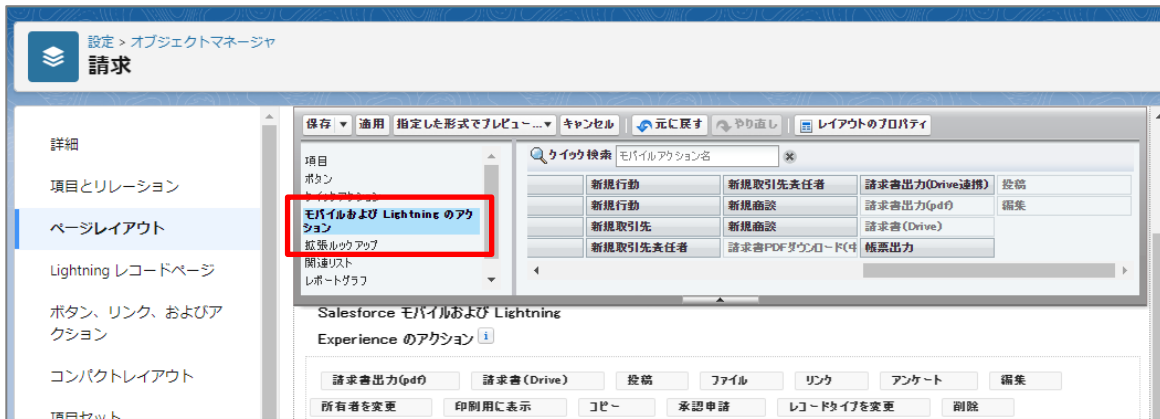
1. この時点でアクションボタンが内部的に作られています。

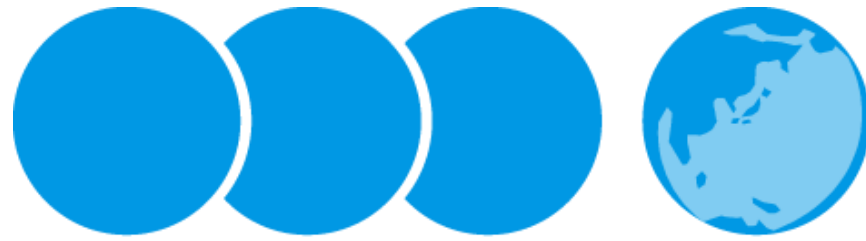
2. 「ボタン設置設定画面へ移動」ボタンをクリックします。

1. 画面遷移がうまくいかない場合はオブジェクトマネージャから親オブジェクトの設定画面を開いてください。

# レイアウトへ表示

1. ページレイアウトを開きます。
2. 「モバイル及びLightningのアクション」内からボタンをレイアウトに表示します。





**Less is More.**